

■児童・生徒の学力の状況

- 学力調査において、各教科の知識や四則計算などの基礎的な技能を問う問題の正答率は、都平均を下回っている。
- 学習の有用感や学ぶ楽しさを感じている児童や、既習事項を活用できていると回答した児童が全国平均を下回っている。
- 家庭での自主学習の実施時間は、都平均を下回っている。
- 授業において、タブレットPCの利用頻度が高く、様々な操作方法を身に付け、有効に利用できる児童が多い。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題
※「読み解く力」の育成を踏まえて

- 基礎基本の定着を促す指導を工夫すること
- 個に応じた指導法を工夫すること
- 表現力を向上させる手立てを工夫すること
- コミュニケーション能力を向上させること
- 一人一台端末をより効果的に活用し、個別最適な学びを実践すること
- 学習の有用感や学ぶ楽しさを感じさせる指導の工夫(振り返りの充実)
- 家庭学習習慣の定着の促進

■学校経営方針より(学力向上に関わる内容から)

- 基本的な学習習慣の習得
 - ① 蓮根スタンダード(学習規律・生活規律)の徹底・チャイム遵守・始業開始終了の挨拶・正しい姿勢(座り方)・机上整理 等
 - ② 話し方・聞き方指導及びノート指導等の充実・相手のことを考えた話し方・聞き方・「書く活動」の充実 等
 - ③ 「書く活動」「振り返り」の充実・読み解く力の育成・学習内容の確認・自己伸長の認識等
- 基礎的・基本的学習内容の定着
 - ① 板橋区授業スタンダードの徹底・ねらいが明確である授業・振り返りの時間確保・ぐんぐん学習、のびのび学習の充実 等
 - ② 教員の指導力向上・校内研究の充実・ICT機器の効果的な活用法・アントレプレナーシップ教育の理解 等
 - ③ 家庭学習の充実(保護者と連携して)・家庭学習の確実な実施・家庭への啓発等・自主学習ノートの活用 等
- GIGAスクール構想に基づいた教育実践
 - ① 一人一台端末を活用し、授業の質の変換を図る。誰一人取り残すことのないわかりやすい授業・思考力や表現力を育む授業
 - ② 情報モラル教育の実施
- 学習に対する興味・関心を高める
 - ① 魅力ある授業づくり・習熟度別少人数指導・問題解決型の授業・協働学習・ICT機器の積極的な活用 等

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点1	視点2	視点3
<p>考え、書き、伝える力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○記述のもととなる考えをもてるよう、体験活動を充実させる。 ○授業展開や記述方法を工夫し、書く必要性や意欲を高める。 ○日記や報告ノートなど、常時活動に取り組み、書くことに慣れるとともに、語彙を増やしたり、作文能力を高めたりする。 	<p>読み解く力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文章を正しく理解する、資料から情報を読み取る、図表のデータを考察する、図表を用いて考えを表現する等の学習活動を積極的に取り入れ、読み解く力を育成する。 ○新しく獲得した言語を学習や日常生活で使用する機会が増えるように指導を工夫することで、基礎的な知識・技能の定着を図ると共に思考力や表現力の向上を目指す。 	<p>ICT機器の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一人一台端末を効果的に活用し、児童の興味・関心をより一層高めるとともに、児童の学習理解を深める。 ○一人一台端末を使った発信を促進し、保護者・地域との連携を図る。

■いたばし学び支援プラン2025の実現に向けた具体的な取組

言語活動の充実	教員の指導力向上	ICT機器の効果的活用
<ul style="list-style-type: none"> ○継続的な取組で、言語活動に慣れ親しむ。各学年毎に、年間を通して取り組む活動を定め、継続して取り組む。 例：1年生 あのねノート 6年生 週末日記 ○板橋スタンダードを徹底し、めあての掲示や振り返りの充実を図る。 ○子ども向け新聞を活用し、記事を読むことに慣れ親しませたり、記事から自分の考えを記述させたりして言語活動のさらなる充実を図っていく。 ○国語教科書巻末の「言葉の広場」の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員の課題に応じ、研究推進委員会を中心に校内OJTを推進し教員の指導力の向上を図る。 ○板橋区教科等指導専門官の公開授業や各研究会等に参加し、指導力向上に努める。 ○社会性を育む学級活動を校内研究の主題とし、児童の社会参画、人間関係形成に関わる指導の向上を図る。よりより集団形成を通して、学習環境を向上させ、学力の向上を目指す。 ○一人一台端末の活用方法について研修を行うとともに、実践内容を情報交換することで活用の幅を広げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一台端末を話し合いや考えを伝えるためのツールとして活用し、思考力・表現力を高める。 ○一人一台端末を家庭学習にも活用し、基礎的な学力を養う。 ○学校行事の様子等を動画で配信したり、教材を配布したりすることで、学習内容を保護者・地域と共有する。